

## 岩手県東日本大震災津波復興委員会 第17回総合企画専門委員会の概要について

### 1 開催概要

- (1) 日時 平成28年 7月13日 (水) 10:00~12:00 岩手県公会堂21号室
- (2) 出席者 委員 7名 (2名欠席)
- (3) 審議事項等
  - ① 「いわて復興レポート2016」について
  - ② 復興実施計画 (第3期) の方向性について

### 2 審議概要

#### (1) 「いわて復興レポート2016」について

「いわて復興レポート2016」は、委員からの意見を踏まえ、所要の修正を行った上で、7月22日開催の復興委員会に提出することとした。

##### [南委員]

- ・復興に関する**南北格差が広がる中で、復興が途上にあるにもかかわらず、復興計画の期間が終わってしまうという不安感をなくすことが重要**。最後まで復興を進めていくというメッセージを込めてほしい。
- ・**地域に残る決断をした人を支える仕組み**を作してほしい。

##### [平山委員]

- ・地域振興の**負のスパイラル**が発生している。(復興が遅れ、人口が減り、そしてまた復興が遅れる。)

##### [豊島委員]

- ・**「将来にわたって持続可能な新しい三陸地域の創造を目指す。」**という表現は大切にしたい。

##### [谷藤委員]

- ・データの整合性がとれていないところや記載場所について検討すべき項目がある。

##### [広田委員]

- ・レポートには**メッセージや評価を端々に加えた方がいい**。
- ・「今後の方向性」について、**次世代・他地域への教訓の伝承をメッセージとして発信すべき**。

##### [若林委員]

- ・全体的な視点で大きな抜けがないか、**俯瞰すべき時期にあるのではないか**。そういう意味で、今年**は極めて大事な一年**である。

##### [齋藤委員長]

- ・実施計画 (第3期) だけでなく、レポートにも**メッセージ性を持たせること、メリハリをつける**ことが重要。

#### (2) 復興実施計画 (第3期) の方向性について

復興実施計画 (第3期) の方向性についても、委員からの意見を踏まえ、所要の修正を行った上で、同じく7月22日開催の復興委員会に提出することとした。

[南委員]

- ・例えば、学校を中心にしたコミュニティづくりなど、**岩手が根本から変わっていくもの**を作っていけないか？

[平山委員]

- ・復興事業の**主体は県なのか民間なのか**、詰めた方がいい。
- ・「**インフラ整備の加速**」と「**インフラの活用**」を打ち出すべき。

[豊島委員]

- ・「全体の取組方向（仮案）」でいうと、「**持続できる社会の仕組みづくりをやっていく。**」という文言が入ってほしい。
- ・「安全の確保」でいうと、「防災文化を継承しながら、安全なまちづくりを実現」とあるが、「防災文化」だけではなく、「**命を守り海と大地とともに生きる**」という表現を盛り込んで欲しい。

[谷藤委員]

- ・「災害からの復興」ではなく、「**地域そのものの復興**」という発想が必要では。
- ・第3期復興計画は「**終わり**」ではなく、「**始まり**」という意気込みで書いてほしい。

[広田委員]

- ・**他地域への貢献（国内外）という視点・姿勢を打ち出すべき。**
- ・三陸復興・振興方策調査の中身を、もう少し大きく報告書に入れてはどうか。
- ・「第3期計画を進めるに当たって重視する視点」の3つに付け加えるとしたら、「**多様な資源の発掘・活用**」を入れてみたらいいのでは。

[若林委員]

- ・**復興の取組は永遠に続けていくという気持ち**が大事。

[齋藤委員長]

- ・海とともに大地とともにいきるプロセスが**生きざまであり、三陸のブランド**でもある。